

1. 開催に関して

会場に入場できるのは、下記の者とする。

- 1) 大会役員（審判員・TO 員含）
 - 2) チーム関係者（チーム関係者とは以下の①～③をいう）
 - ①エントリーされた選手
 - ②スタッフ
 - ③エントリー以外で普段活動に参加している選手（1～3年生部員）及びスタッフ
 - 3) 2022年度JBAに登録している1～3年生の競技者+マネージャーの保護者（1生徒につき保護者2名）
 - 4) その他、運営において必要と認める者
- ※上記2) および3) については、試合終了、またはチームが敗退した場合、速やかに退場すること。

2. 新型コロナウイルス感染陽性者及び濃厚接触者等の対応について

（岩手県高等学校体育連盟 第74回岩手県高等学校総合体育大会のコロナ対応より）

- 1) 感染陽性者について
陽性者は大会参加不可。保健所及び医師から指示された健康観察機関（自宅待機）の解除後も、咳などの身体症状が残る場合は、大会参加を自粛するなど、学校で適切な対応をすること
- 2) 濃厚接触者について
濃厚接触者については、PCR検査や抗原検査が陰性であっても、保健所で指示された健康観察機関（自宅待機）は、大会に参加することができないもの
- 3) 濃厚接触者の疑いがある場合について
濃厚接触者の疑いがあり、保健所等から「濃厚接触者に該当しない」と判断されるまでは、体調等にかかわらず、大会参加を見送ること
- 4) 参加について
ア 学校が休校措置になっている場合は、チーム及び個人（生徒）の大会参加を見送る。また、学年閉鎖、学級閉鎖になっている場合は、当該学年、学級に所属する生徒の大会参加を見送る。
イ チーム内で大会一週間前から前日までに部活動が起因する小規模クラスターが発生したチームは、大会参加を見送ること

3. 大会開催期間中に、陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる者が出た場合は、その該当者と学校関係者（部員及び部顧問等、以下同じ）を接触させないよう隔離し、該当者には速やかに医療機関を受診させる。その際、診察結果が判明するまでは該当者を除く学校関係者は、体調管理をしながら参加出来る。しかし、該当者がPCR検査を受検する事になった場合は、その学校関係者は大会出場を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つ。
※陰性の場合、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。
- 2) 大会期間中、学校関係者内に接触者の可能性がある者や濃厚接触者が出た場合、その学校関係者は大会出場を取りやめ、保健所の指示を受ける。
※PCR検査を受検した学校関係者全員が陰性の場合、競技大会に出場できるが、すでに予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。
- 3) 当該チーム責任者は上記1)・2)が発生した場合は速やかに大会本部に連絡すると共に、保健所等関係機関に連絡し対応の指導を仰ぐ。
（専門部は県高体連事務局、岩手県バスケットボール協会専務理事、競技運営部長に連絡する）

4. 参加するチーム関係者、保護者

参加・観戦に向けて下記の事項①～③を厳守していただくよう事前に周知する。

下記事項を厳守できない場合、大会の安全を確保するため参加取り消しや退場していただく場合がある。

① 大会参加前の体調管理の徹底

【重要】咳・咽頭痛・倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は参加しない。

発症から数えて2日間及び症状消失後より数えて3日間において以下の項目にあてはまる場合、参加しない。

◇だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。

◇重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で発熱や咳など比較的軽い風邪症状がある場合。

◇比較的軽い風邪が続く場合。

※これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること

（本来であれば、エントリー後の棄権は処罰等の審議対象となる）

また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には大会実施委員会担当者に速やかに連絡を取り、指示を仰ぐこと。

② 大会参加中の事項

- ・こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒
- ・コート以外でのマスク着用
- ・大きな発声の自粛
- ・タオル・ドリンク類の共用をしない

③ 大会へ参加するにあたり専門部作成の「健康チェックシート」を提出する。

5. 大会運営での対応策

大会運営にあたり下記①～⑩でポイント感染防止に努めます。

① 来場前 【重要】倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は会場に来場しないこと。

② 会場入口

- ・体温が 37.5 度以上の方は、入場できない。医療機関への受診を案内する。
- ・消毒用アルコールを設置し、入場者は必ず手指消毒をする。
- ・入場の際、マスクの着用は必須とする。
- ・外靴は、口を閉じることが可能なシューズケース等を利用し、各自管理すること。

③ チーム受付（チーム関係者）

- ・チームの代表者は、参加者の「健康チェックシート」を提出する。

④ 観客席の利用について

- ・チーム毎に場所を指定する。
- ・密接な状況にならないよう間隔を空け、着席すること。
- ・マスクの着用は必須とする。

⑤ トイレの利用について

- ・布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しない。
- ・注意喚起・意識付けの表示を設置。
- ・消毒用アルコール、ペーパータオル、ゴミ袋を設置する。
- ・個室ではトイレの蓋を閉めて水を流すこととする。
- ・飲食物をトイレに廃棄しないこととする。

⑥ 競技について

- ・各ベンチ、オフィシャルズテーブルに消毒用アルコールを設置する。
- ・選手、スタッフ、審判、TO、コートキーパーなど試合に関わる方は、試合の前後で必ず手指消毒を行うこととする。
- ・タオル・ドリンク類は共用しないこととする。
- ・オフィシャルズテーブルに座る場合は、マスクを着用する。
- ・出場チーム選手及びチームスタッフは試合前に、椅子や机の消毒・除菌を行う。
- ・TO も試合前に椅子と机、TO 機材や筆記用具などの消毒・除菌を行う。

⑧ 閉会式・表彰式

- ・準決勝終了後、男女決勝終了後、短時間で簡素な形で行う。

⑨ 試合終了後

- ・コートに降りた関係者は、手指の消毒・洗浄を徹底する。
- ・試合終了後、できるだけ早く会場から出るようにする。出る際は必ず手指をアルコール消毒する。

⑩ 大会終了後

- ・競技会参加後 5 日以内に、参加チームまたは役員（審判員含）等関係者から新型コロナウイルスの陽性・濃厚接触が判明した際、当該チームまたは役員（審判員含）等関係者は、専門部委員長に報告すること。
- ・情報を受けた専門部委員長は、県高体連事務局、専門部長、（一社）岩手県バスケットボール協会専務理事、競技運営部長、対戦チーム、審判委員長及び審判割当担当者、その他必要と思われる所に連絡を行う。

⑪ その他

- ・運営スタッフが会場内の消毒・除菌を行う。多数の関係者が触れるドアノブ、テーブル、椅子などは特に消毒・除菌を徹底する。
- ・常時開放できる窓、ドアなどは開放し換気に努める。
- ・来場者は出したゴミは持ち帰り、会場のゴミ箱は使用しない。（表示、アナウンス）

6. 大会役員（審判員含む）

参加する大会役員は、上記 4. 参加する選手と同様の事項を厳守し大会運営にあたる。参加については感染防止を最優先とし各自の判断・対応とする。

7. 試合観戦について

応援に関しても、感染予防の観点から、大きな発声を自粛し、拍手などで応援する、集団でかけ声を出したり、歌を歌ったりするようなものは禁止する。鳴り物についても同様とする（持ち込まない）。